

### 調査概要

- 調査機関 2006年7月～8月
- 調査方法 留置き
- 配布数 1000
- 回収数 800
- 回収率 80.0%

### まず、あなたについてお聞きします

#### ●あなたの年

項目	数	%
20歳未満	20	2.5
20歳代	79	9.9
30歳代	72	9.0
40歳代	114	14.3
50歳代	173	21.6
60歳代	208	26.0
70歳以上	133	16.6
無記入	1	0.1
計	800	100.0

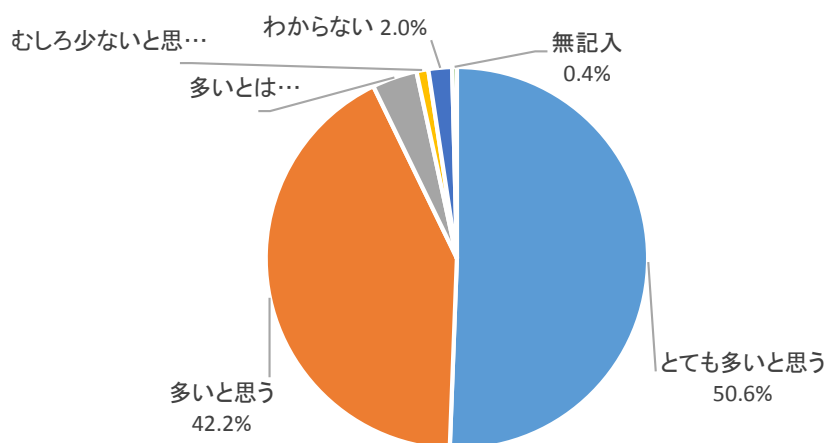
#### ●あなたの性別は

項目	数	%
女性	677	84.6
男性	120	15.0
無記入	3	0.4
計	800	100.0

### アンケートをお願いします

Q.生活ごみに占める容器包装ごみの割合は、「かさ」にして約6割とされています(環境白書16年度版より)。あなたはこれを多いと思いますか？ 次のうち1つ選んで、番号を記入してください。

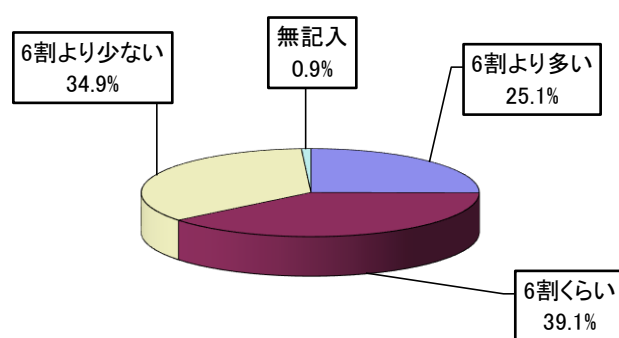
項目	数	%
とても多いと思う	405	50.6
多いと思う	338	42.2
多いとは思わない	30	3.8
むしろ少ないと思う	8	1.0
わからない	16	2.0
無記入	3	0.4
計	800	100.0



第1位が「とても多いと思う」405人(50.6%)、第2位が「多いと思う」338人(42.2%)が回答している。92.8%の人が容器包装ごみは多いと思っていることがわかる。

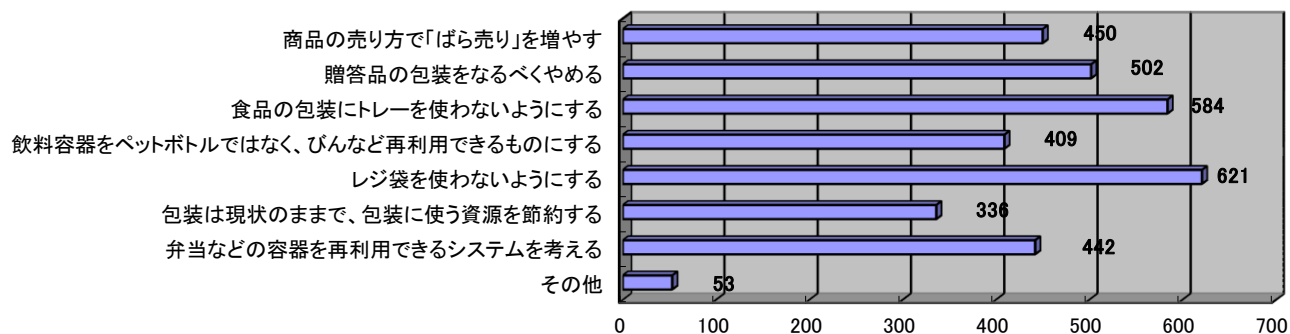
Q.ではあなたの家庭では、容器包装ごみの割合は、「かさ」にして 6 割より多いと思いますか、それとも少ないと思いますか？資源ごみも含めて、1 年を通した平均でお答えください。

項目	数	%
6 割より多いと思う	201	25.1
6 割くらいだと思う	313	39.1
6 割より少ないと思う	279	34.9
無記入	7	0.9
計	800	100.0



容器包装ごみの割合は、6 割くらいと考えている人が約 4 割だが、他の回答と大きな差はない。

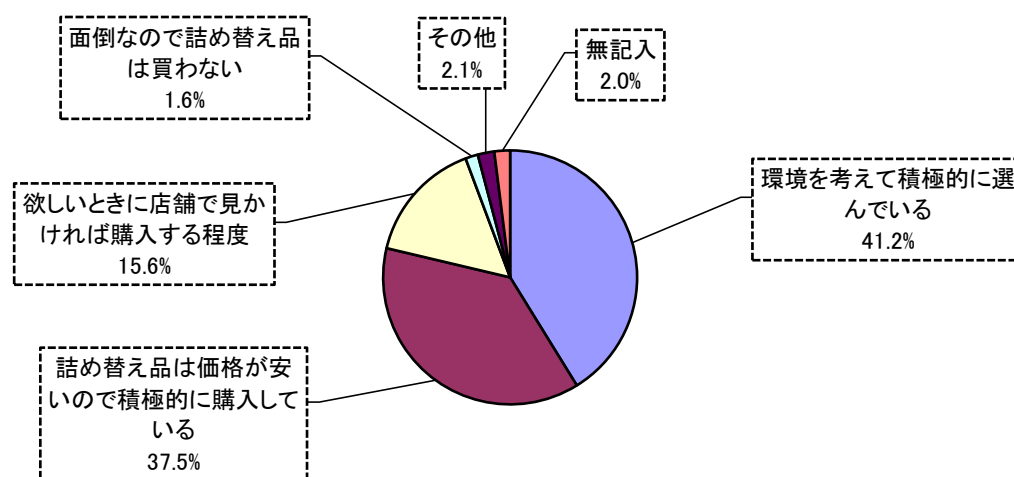
Q.容器包装ごみを減らす対策としてあなたがよいと思うのは、次のうちどれですか？あてはまるものすべてを選んでください。



項目	数	%
商品の売り方で「ばら売り」を増やす	450	56.3
贈答品の包装をなるべくやめる	502	62.8
食品の包装にトレーを使わないようにする	584	73.0
飲料容器をペットボトルではなく、びんなど再利用できるものにする	409	51.1
レジ袋を使わないようにする	621	77.6
包装は現状のまま、包装に使う資源を節約する	336	42.0
弁当などの容器を再利用できるシステムを考える	442	55.3
その他	53	6.6

容器包装ごみを減らす対策として、612人(77.6%)が「レジ袋をもらわないようにする」と回答し、第1位となった。2位は「食品の包装にトレーを使わないようにする」584人(73.0%)、3位は「贈答品の包装をなるべくやめる」502人(62.8%)と続く。2位は事業者への要望だが、1位と3位は誰でも今すぐ実行できる項目。容器包装ごみを減らすためには、自らが実行する必要があるとの意気込みが感じられる。

Q.詰め替え品は、本体容器を繰り返し使える点と、包装材が軽量化できる点で、環境負荷が少ない包装です。あなた自身は詰め替え品を買っていますか？ 次のうち1つ選んで、番号を記入してください。



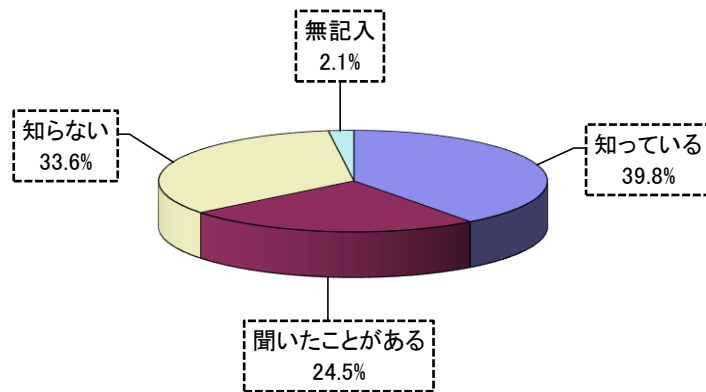
項目	数	%
環境を考慮して積極的に選んでいる	329	41.2
詰め替え品は価格が安いので積極的に購入している	300	37.5
欲しいときに店頭で見かければ購入する程度	125	15.6
面倒なので詰め替え品は買わない	13	1.6
その他	17	2.1
無記入	16	2.0
計	800	100.0

数年前までは、詰め替え品は”高い”との定評だったが、今回のアンケートでは”安い”ので購入しているとの結果が出た。これは、高くても消費者が環境を配慮する態度が変わってきたからだと推察する。しかし、1.6%の人が「面倒なので詰め替え品は買わない」と回答している。今後、詰め替え製品の開発が重要となる。

**Q.環境負荷を小さくするため、包装材の「軽量化」が図られています。リユースびんでも軽量かつ長寿命のびん(ビールや牛乳)が使われ始めています。このことはご存じですか？ 次のうち1つ選んで、番号を記入してください。**

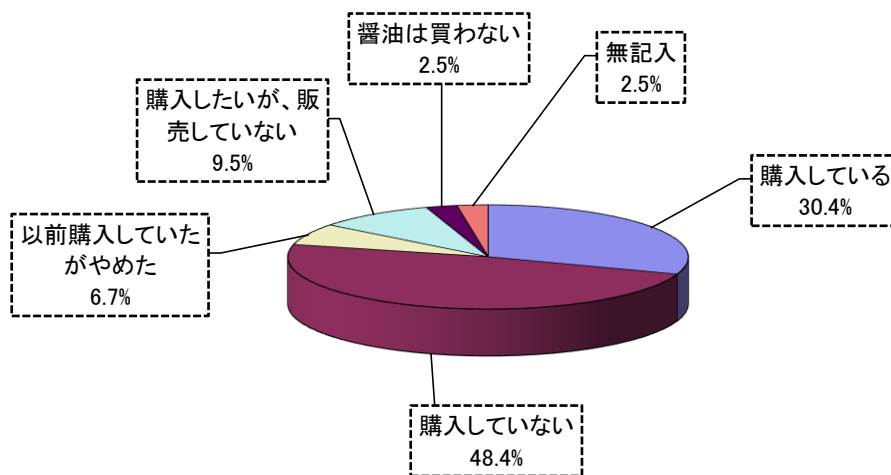
項目	数	%
知っている	318	39.8
聞いたことがある	196	24.5
知らない	269	33.6
無記入	17	2.1
計	800	100.0

約 4 割の人が「知っている」が、ほぼ同数の人が「知らない」と回答している。消費者への情報提供が不足していることがわかる。ビンは、従来から重い・割れると思われているが、びんの軽量化・長寿命化が図られていることを知れば、ビン容器のものを購入する人が増えるのではないだろうか。製造メーカー及び流通事業者には「計量・長寿命」などの表示が求められる。



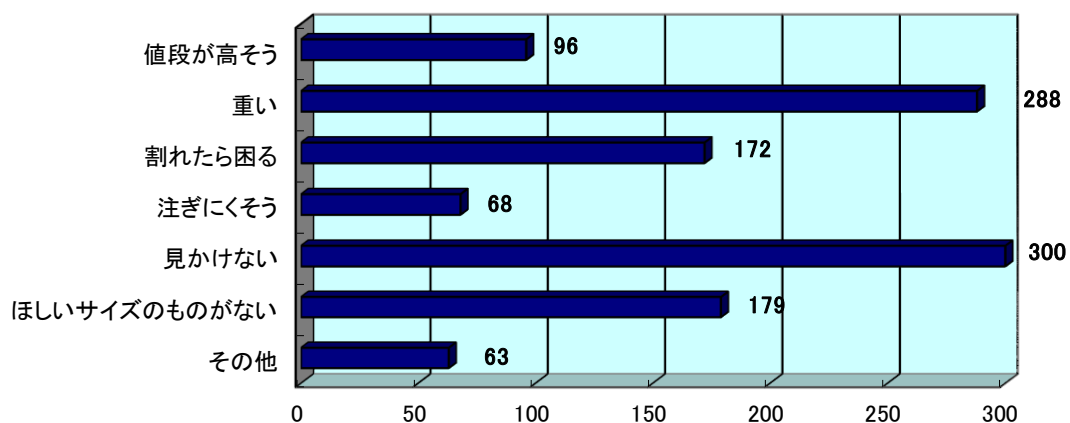
Q.「びん容器」はプラスチック容器に比べて環境への負荷が低いと言われています。あなたはびん入り醤油を買っていますか？ 次のうち1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
購入している	243	30.4
購入していない	387	48.4
以前購入していたがやめた	54	6.7
購入したいが、販売していない	76	9.5
醤油は買わない	20	2.5
無記入	20	2.5
計	800	100.0



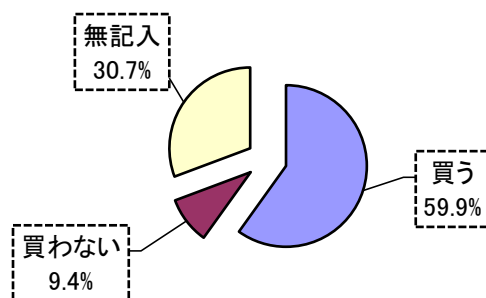
Q 前問で「購入していない」「以前購入していたがやめた」「購入したいが、販売していない」を選んだ方に伺います。現在買っていない理由はなんですか？ あてはまるものすべてを選んでください。

項目	数	%
値段が高そう	96	12.0
重い	288	36.0
割れたら困る	172	21.5
注ぎにくそう	68	8.5
見かけない	300	37.5
ほしいサイズのものがない(卓上用のものしか売っていないなど)	179	22.4
その他	63	7.9



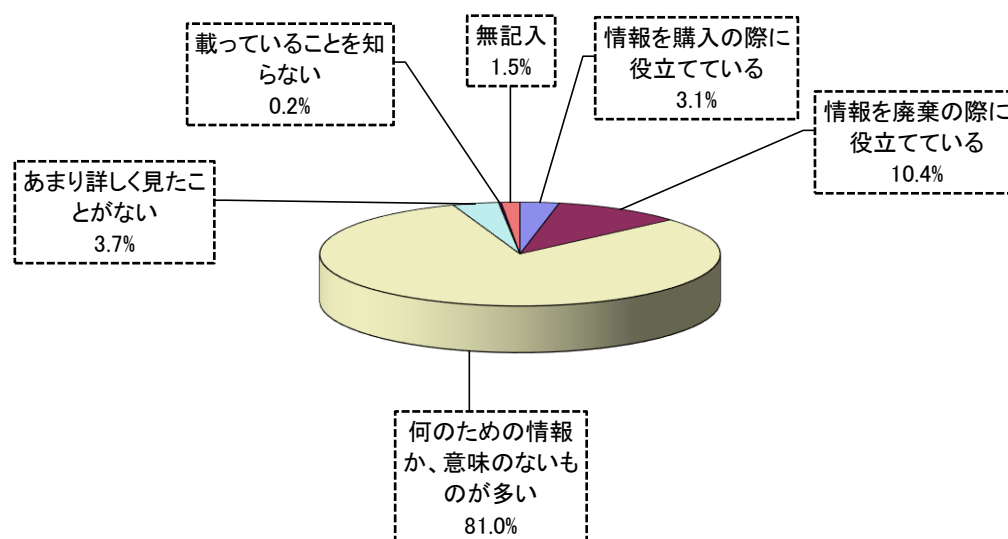
Q.買わない理由が改善されたら、びん入り醤油を買いますか？

項目	数	%
買う	479	59.9
買わない	75	9.4
無記入	246	30.7
計	800	100.0



Q.包装容器にはその容器が何から作られているかなど、環境情報が表示されています。その情報についておたずねします。次のうち1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
情報を購入の際に役立てている	126	15.8
情報を廃棄の際に役立てている	418	52.3
何のための情報か、意味のないものが多い	38	4.7
あまり詳しく見たことがない	149	18.6
載っていることを知らない	8	1.0
無記入	61	7.6
計	800	100.0



半数以上の人々が「情報を廃棄の際に役立てている」と回答している。マークや図で示す目的は、一見して何を意味しているか分かることである。しかし、私たちの生活の中には、様々な情報を提供するマーク・図が溢れ、見ても意味が分からないという結果が生じている。マークや図を有効に活用するためには、社会全体でマークや図を整理する必要がある。特に、製品を廃棄したり、リサイクルする際のマークは重要だと考える。